

市民の声への回答(H31.1月受付分)

受付	受付区分	種類	担当課	件名	受信内容	回答
				住所・氏名・電話		
1月10日	電話	意見	滝根行政局 市民課 産業建設課	滝根町神俣駅周辺の活性化について	滝根町神俣駅周辺が、寂びれてしまっている。特に、夜になると、駅周辺にはお店もなく、街灯もないので、真っ暗になり、歩くのも怖い状態である。あぶくま洞もあり、観光地なのに、とても寂しく感じる。 また、滝根行政局や公民館は、1階部分しか使用されておらず、建物ばかり大きく、電気料や維持費等を考えると、無駄が多いのではないか。滝根行政局や公民館、図書館などの公共施設を駅前に集めて、駅周辺の活性化を図ってはどうか。駅は、学生なども利用するので、図書館があれば待ち時間などに気軽に足を運べたりと、とても機能的である。もっと街が活性化し、この地域で育った若者たちが、地元に戻ってくるような街であってほしい。	滝根町でも人口減少や高齢化が進み、神俣駅前の商店が廃業するなど、駅の周辺は寂しくなっています。そうした状況を受け、平成27年に神俣駅周辺まちづくり協議会を立ち上げ、交流の促進とイベント等の活性化のため、滝根コミュニティセンターを改修しました。現在は、神俣駅周辺を含めた滝根町全体の地域の活性化について話し合う新たな協議会を立ち上げる準備をしているところです。 また、公共施設については、地域の状況を踏まえつつ、効率的な管理運営の観点から集約・複合を進める計画です。滝根行政局や滝根公民館も、住民の皆さんが利用しやすい、機能的な交流拠点となるよう検討しています。 市では、企業誘致、保育料・インフルエンザ予防接種代の無料化など、働く場の創出や子育て支援に力を入れています。引き続き、若者が市に残りやすい、戻りやすい施策を展開していきます。
				-		
1月21日	メール	意見	生涯学習課	屋内遊び場の整備	船引町の各地区運動場にある屋内施設ですが、主にゲートボールを行うことを前提とした整備がされていると思います。 これを郡山カルチャーパークの屋内遊び場のような人工芝を敷き詰めた子供の遊具やボール遊びが出来る施設に整備し、直して頂ければ、市民の家族連れが休日に市外まで出かけずに済むのですがいかがでしょうか？	船引町の各地区の屋内運動場は、現在、ゲートボールのみならず、グラウンドゴルフの練習や大会にも使用されています。一部は、部活動の練習や地区盆踊り等にも活用されており、休日の利用頻度も高い状況です。 ご提案いただいたように、屋内運動場に人工芝を敷き詰めれば、子どもの遊び場として、またゲートボールやグラウンドゴルフの団体や市民の皆様にとって利用しやすい施設になると思います。 屋内遊び場については、天候に左右されることなく、休日にも利用できる施設の整備が求められていることから、現在、市の遊休施設の活用や新設などによる整備を検討しているところです。 なお、親子のふれあいなどに利用できるよう天然芝になっている陸上競技場のフィールドを定期的に無料開放することで、市外に行くことなく、安心して子どもを遊ばせることのできる環境を整えていきます。
				-		
1月30日	メール	意見	建設課	除雪の出動基準について	① 田村市の除雪出動基準は積雪15cmとありますが、国道は5cm、県道は5～10cm、郡山市も10cmとなっています。 以前に比べて、積雪の日数も減っており、除雪業者の作業頻度も減っていることから、除雪作業の技術向上のために、今より少ない積雪で除雪作業を開始した方が、除雪業者の安定的な品質確保や作業機械の確保にもつながり、については、市民生活の利便性確保に結び付くので、除雪基準の見直しをしてはいかがでしょうか。 ② 近年の除雪傾向から、路面凍結に対しての対策も向上させる必要があると感じるので、凍結防止剤散布車を国や県、郡山市のように走らせてはどうでしょうか。 市単独で難しければ、県に委託なども方法としてはあると思います。	① 本市においては、市内1,276路線、総延長804kmを除雪計画に挙げており、これを市民生活に支障のないよう短時間で進めています。積雪の基準については、合併以前から15cmとしており、これを下げることによって出動回数が増えるため、除雪にかかる経費も増大します。除雪の品質という課題はありますが、費用対効果を鑑み現行基準での運用に御理解願います。 ② 市に凍結防止散布車はありませんが、市所有トラックに専用機械を載せて融雪剤を散布しています。除雪後の凍結している箇所全てに対応することはできませんが、日陰で溶けにくいところ、カーブや坂道などで通行に支障がある箇所について、パトロールなどにより随時対応しています。
				-		

市民の声への回答(H31.1月受付分)

受付	受付区分	種類	担当課	件名	受信内容	回答
				住所・氏名・電話		
1月31日	文書	問い合わせ	総務課	UDCT(船引町)の状況について	財政危機の田村市さんにお伺いいたします。 船引町栄町にあるUDCTとは、どんな仕事をしているんですか？ 常勤者が2名いるようです。 各地の公民館及び出張所より多い人員配置しているようですが、大事な仕事をしてるものと思います。 しかし、そのUDCTに毎日市役所職員が行ってるみたいですが、そうなんでしょう？	① 栄町のUDCTは、東京大学大学院の都市計画・再生関係の研究室に運営を委託し、まちづくり、地域の賑わい創出などに関する研究、調査、実証事業を行う拠点として活用しています。今年度の委託事業費は485万円です。 ② ご質問のあった市職員について、UDCTの運営には、東京大学大学院の研究室と現地採用スタッフ、地元の団体などと連絡や調整を行う企画運営担当の市職員を配置しています。各種活動にボランティアで参加している場合もあり、特につるし雛まつりなどのイベント実施には長時間に及ぶ打ち合わせなどもあります。ご指摘があったような誤解を受けないよう、UDCTの運営の透明性を高めていきます。
				-	聞くところによると仕事も何もしないで雑談がほとんどのようです。 多いときは6時間位居座っているようです。 こんな事では、一生懸命仕事してる職員はどうなんですか？ ①UDCTに年間支払う経費は、いくらかかっていますか？ ②毎日居座っている職員は、なにをしてるんですか？ 以上、2点お答えをお願いします。	